

～流域が自然公園に指定されており、自然を生かした観光業が盛んな日置川における流域治水～

●氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策

河川区域 集水域

ためる、しみこませる

[国、県、市町、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
田んぼやため池等の治水利用
⇒**間伐等の森林整備**

ためる [県、関西電力]

利水ダム等において貯留水を
事前に放流し、水災害対策に
活用
⇒**殿山ダムでの事前放流**

[県、市町]
遊水地等の整備・活用

安全に流す

[国、県、市町、企業]
河床掘削、砂防堰堤、雨水
排水施設等の整備
⇒**日置川の治水対策、
床固工、
法面保護工、
山腹工、溪間工 など**

氾濫水を減らす [県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

●被害対象を減少させるための対策

集水域 氾濫域

よりリスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫

[県、市町、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討
⇒**宅建業法改正 水害リスク情報の重要事項説明が義務化、
農振地域の農転の監視、土地利用規制の検討、
まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成**

被害範囲を減らす [県、町]

二線堤等の整備



●被害の軽減、早期復旧

・復興のための対策 氾濫域

土地のリスク情報の充実 [県]

水災害リスク情報の空白地帯解消等
⇒**水害リスク空白域の解消
(支川等における浸水想定区域
図の作成)**

避難体制を強化する [国、県、市町]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握、
防災情報の充実
⇒**水位計・監視カメラの設置、
ハザードマップの作成・周知、
タイムラインの作成・運用、
避難場所の安全レベル設定、
防災ナビアプリの普及啓発**

経済被害の最小化 [県、企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
⇒**BCP策定ワークショップ開催**

住まい方の工夫 [企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融商品を通じた浸水対策の促進
⇒**宅建業法改正 水害リスク情報
の重要事項説明が義務化**

氾濫水を早く排除する

[国、県、市町等]
排水門等の整備、排水強化
⇒**排水ポンプ車、可搬式ポンプ**

支援体制を充実する [国、企業]

官民連携によるTEC-FORCEの体制
強化

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある

二級水系
流域治水プロジェクト

日置川流域治水プロジェクト

～流域が自然公園に指定されており、自然を生かした観光業が盛んな日置川における流域治水～

○日置川流域において、平成2年9月洪水や平成23年台風12号（紀伊半島大水害）と同規模の水災害による被害を軽減するための治水対策を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。



凡 例

- 流域界
- 河川における対策
- 河川における対策(完了)
- 流域における対策
- 流域における対策(完了)
- 浸水範囲(平成23年台風第12号)

■ 事業規模
河川対策(約10億円)

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

洪水氾濫対策
日置川(堤防整備、河道掘削)

土砂災害対策

- 床固工
- 法面保護工
- 山腹工
- 溪間工

流水の貯留機能の拡大

- 殿山ダムにおける事前放流

流域の雨水貯留機能の向上

- 間伐等の森林整備

■ 被害対象を減少させるための対策

水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

- 農振地域の農転の監視
- 土地利用規制の検討

まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実

- まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実

- 水害リスク空白域の解消(支川等における浸水想定区域図の作成)

あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供

- 水位計・監視カメラ等の設置・増設
- 防災教育や避難訓練等の実施

避難体制等の強化

- ハザードマップの作成・周知
- タイムラインの作成・運用
- 避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進
- 避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化
- 避難時間確保のための体制等の構築・強化

経済被害の軽減

- 排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

日置川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域が自然公園に指定されており、自然を生かした観光業が盛んな日置川における流域治水～

● 日置川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、国、民間等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】

・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、日置川での堤防整備、河道掘削を行い、治水安全度の向上を図る。

また、殿山ダムにおける事前放流により、水災害対策に活用する。

・ 被害対象を減少させるための対策として、農振地域の農転の監視やまちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成を行う。

また、浸水リスク等を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するにあたり、土地利用規制の検討を行う。

・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として水害リスク空白域の解消のため、支川等の浸水想定区域図、ハザードマップ作成を行う。

【中長期】

・ 日置川水系河川整備計画に基づく、計画規模の改修を完了させ、流域全体の治水安全度の向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削 砂利採取	和歌山県、白浜町、企業	河川整備計画に基づく改修(日置川) 砂利採取を実施	
	床固工、法面保護工	近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所	熊野(いや)地区 砂防施設の整備	砂防施設の整備
	山腹工、溪間工	近畿中国森林管理局森林管理署、和歌山県	本田垣内区域 直轄治山事業の整備 野中裏地治山事業など2箇所の整備	治山施設等の整備
	殿山ダムにおける事前放流	和歌山県、(株)関西電力	平成24年6月より運用している殿山ダムにおける事前放流	
	間伐等の森林整備	近畿中国森林管理局森林管理署、森林整備センター、和歌山県、田辺市	間伐等の森林整備を実施	
被害対象を減少させるための対策	農振地域の農転の監視	田辺市、白浜町	農振地域の農転の監視を実施	
	土地利用規制の検討	和歌山県、田辺市、白浜町、すさみ町	浸水リスク等を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するにあたり、土地利用規制の検討を実施	
	まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成	和歌山県	まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク空白域の解消(支川等における浸水想定区域図の作成)	和歌山県	支川等における浸水想定区域図の作成	
	水位計・監視カメラ等の設置・増設	和歌山県	日置川の必要な箇所に河川監視カメラを設置 河川水位情報や河川カメラ映像の提供を実施	
	防災教育や避難訓練等の実施	和歌山県、田辺市、白浜町、すさみ町、近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所、気象台	防災教育や避難訓練等の実施	
	ハザードマップの作成・周知	和歌山県、田辺市、白浜町、すさみ町	ハザードマップの作成 ハザードマップの周知・啓発	
	タイムラインの作成・運用	和歌山県、白浜町	作成したタイムラインの見直し及び適切な運用の実施	
	避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進	和歌山県	避難場所の安全レベルの設定 防災ナビアプリの普及啓発の実施	
	避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化	田辺市、白浜町、すさみ町	避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化	
	避難時間確保のための体制等の構築・強化	田辺市、白浜町、すさみ町	避難時間確保のための体制等の構築・強化	
	排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用	和歌山県、田辺市、白浜町	配備済みの排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。